

# 令和元年度 浦安市災害医療対策会議 議事要旨

## 1 開催日時

令和元年 7月 19日（金） 午後 7時 30分～午後 8時 20分

## 2 開催場所

浦安市健康センター 第一会議室

## 3 出席者

[委員]

岡部委員（会長）、大塚委員（副会長）、熊川委員、高木委員、上田委員、高須委員、飯田委員、田中委員、畑中委員、金子委員、松田委員、西條委員、竹本委員、山本委員、坂本委員、森委員、河井委員、森田委員、高津委員、醍醐委員

[事務局] 健康増進課

磯貝課長補佐、中島主任主事、井田主事、久留島保健師

## 4 傍聴

傍聴者：1名

## 5 議事

- (1) これまでの取り組みについて
  - ・実践型訓練の実施
  - ・協定締結
  - ・対策部の選任
- (2) 今後の取り組みについて
  - ・内部訓練の実施（マニュアル整備の一環）  
～トリアージ訓練・テント立上訓練～
  - ・病院前救護所設置の調整
  - ・資機材調達手続き
- (3) 懸案事項
  - ・行動計画マニュアルについて
  - ・病院前訓練の実施時期について
  - ・救護所の設置箇所について  
～明海小と堀江中の位置づけについて～

## 6 議事の概要

- (1) これまでの取り組みについて、説明し、質疑を行った。
- (2) 今後の取り組みについて、説明し、質疑を行った。
- (2) 懸案事項について、説明し、質疑を行った。

## 7 会議経過

### (1) これまでの取り組みについて

市が、これまでに取り組んできた内容について、事務局から説明をした。  
その後、この議事に対し、表明された主な質疑は、下記のとおり。

委員：2月に実施した実践型訓練の時に、意見が出たようであれば、取り入れる必要あり。

会長：訓練に参加して、お気づきの点など、ありましたでしょうか。

委員：調整班について、わかりにくいところがあった。皆さんが参加してスムーズに進められたのかどうか、ご意見があれば、伺いたい。

事務局：実際に参加しました職員に、アンケート調査を実施いたしました。その中で、他の班との区別が難しい部分があった、などのお話も一部ありました。

委員：この会議室で訓練を行ったときは、調整などテーブルごとに班を編成していたが、はっきりと区分を示し、訓練を積み重ねることで、しっかりした役割分担ができるものとする。

### (2) 今後の取り組みについて

市が、今後取り組みを予定している内容について、事務局から説明をした。  
その後、この議事に対し、表明された主な質疑は、下記のとおり。

委員：今年度は、職員を中心の訓練とのことだが、市の流れや状況を把握したいので、我々も訓練に参加させていただきたい。

事務局：可能であれば、皆様と一緒に訓練を進めさせていただきたい、それが最終的な目標ですが、まずは市職員が自分たちの職務を理解していくことから進めていくことが第一だと考えていますので、まずは内部での実施訓練を計画したところです。しかしながら、貴重なご意見をいただきましたので、訓練のご見学など、訓練の日時や場所等、詳細が分かりましたら、皆様にお知らせいたします。

### (3) 懸案事項

市が、今後の取り組む予定において、懸案となる事項について、事務局から説明をした。  
その後、この議事に対し、表明された主な質疑は、下記のとおり。

委員：今後、行動計画マニュアルを策定する予定とのことであるが、策定するまでに、大規模災害が起きてしまったら、どのように対応するつもりか。たとえば、災害拠点病院である東京ベイや順天堂大学では災害時の対策を立てていると思う。特に東京ベイでは、市川市も救護所設置病院と位置付けられている。市が対応できるような

ものができなければ、病院へ支援をする形での対応も考えていくべきでは。

事務局：これから個別的行わせていただく各病院さんとのヒアリングの中で、細かい具体的なお話というのもさせていただきたいと思っています。

(4) その他

上記内容のほか、委員より表明されたご意見・質疑は下記のとおり。

委員：設置箇所の検討について、堀江中の位置づけについて、記載されているが、堀江中をやめて、浦安中央病院へ1本化するという考えであるのか。

事務局：まずは救護体制を考えていくうえで、我々がどういう思いであるかというところを確認したうえで、今後の救護所に位置づけについて、検討をさせていただきたいと思っています。

委員：救護所も現実に即した考えをしないといけないのでは。テントも数少ない中で、残りの救護所を対応できるのか。

会長：必要なものであるため、計画を進められるよう、スピードアップということできさせていただきたい。

委員：現在は、最初の1週間の対応について、検討されているが、その後は、1週間から1か月以内の対応、また、1か月後以降の対応について、考えないといけない。今までまとめた内容は、初期のもの。救護所から避難所への対応についても、計画をしていただきたい。今後は衛生管理が必要になる。1か月以降になると保健所との連携も考えていただきたい。

委員：救護所設置箇所の話もあったが、学校前での医療対応が難しいとも認識している。対策会議などの場で、話がまとまれば、会議にもかけたい。

委員：いざというときに、急病診療所で救護所が開設されることとなると思うので、そこからしたいと思っている。なお、備蓄品も確認したが、足りないものが多いと思うので、リスト化する際は、ともに進めたい。

委員：この会議は、年に1回では、意味がない。具体的に検討できる場を、ちゃんとした計画ができるまでは、年に3回くらい行うなど、今後のことを考えていける場が必要なのでは。